

杉並区立西田小学校 令和5年度 第4回学校運営協議会記録

- ・日 時 令和5年9月25日（月） 午後4時00分より午後5時45分
- ・場 所 図書室
 - ・出席者 諏訪会長 鈴木校長 恵羅 目黒 中澤 半澤 望月 衛本（書記）
【事務局】山根副校長 【傍聴者】2名
- ・資料 1 令和5年度第4回学校運営協議会次第
 - 2 西田小学校 学校運営協議会委員について
 - 3 杉並区立松溪中学校 地域運営学校だより
 - 4 令和5年度第3回運営委員会資料
(PTAより)
 - 5 PTA 広報誌「Change」第2号（回覧）
 - 6 PTA 広報誌「Change」特別号（回覧）
(5、6はPTA臨時委員会 つなごうにしたのわ より)

1 会長挨拶

- ・今月末をもって退任される委員への感謝の言葉がありました。
- ・西田小のユネスコスクールの歩みを振り返りながらお話をいただきました。
 - *2014年、国連総会で採択された「持続可能な開発のための教育の10年」がこの年で終わり、日本で多くの学校がユネスコスクールに加盟、本校も杉並区で唯一のユネスコスクールに加盟し発足しました。2016年に本格的な始動を開始し、ユネスコスクールとしてESDを主軸に学習を組み立て始めました。ESDカレンダー作成やそれに基づく授業、子ども達自身の年間を通しての探究活動と「ESD子供報告会」が行われるようになりました。年を重ねる毎に、発表のレベルも高まり2019年にはESD大賞小学校賞を受賞。2020年に大人も子どもも一緒に学びに参加する「NISHITA 未来の学校」企画を開始しました。大変好評でしたが、翌年度からは新型コロナの影響を受け、zoom開催など規模を縮小しました。2023年ESD大賞ユネスコスクール最優秀賞を受賞しました。
 - *本校では当たり前の活動となっているが、他校の先生が西田に来校された際には活発な授業が展開されていると非常に驚かれることが多い。学習者主体の学び、対話的で深い学びが積極的にできていると評価を頂いています。学校運営協議会もこのような流れを応援してきて、退任される委員の皆様にご協力いただき感謝申し上げます。
- ・今回はPTAについて意見を交わされたいと思っています。

2 校長挨拶

- ・2学期が始まり順調に教育活動が始まっています。
- ・9月の活動の様子のお話がありました。
 - *9月の初めは熱中症対策による校庭の活動を中止することもあったが、最近は涼しくなり通常の遊び方となっています。

- *先週から、低学年を中心に感染症の風邪のため学級閉鎖が出始めています。気を抜かず、基本的な感染症対策をおこなっていき、改めて感染予防の指導も行っていきます。
- *9月13日に2回目の校内研究授業を実施しました。6年生「社会科」“元寇の戦い”について、狙いに迫る3つの視点を色分けし、自分の考えを一つの色に決めて、そうなる理由を考え友達と意見交流をしながら狙いに迫りました。同じ考えの人や違う考えの人と積極的に意見交流を行っていました。
- *3年生はジャイアンツアカデミーのコーチによる野球教室で“投げる”に特化して教わりました。トンボをよぼうの仕掛けをプール設置しました。
- *5年生はニシタスのご紹介によりJA東京中央の方にお越しいただき出前授業を行いました。探求の基になっていくといいなと思っています。
- *4年生は「座・高円寺」の演劇教室に参加し、水道キャラバンの出前授業も受けました。
- *1年生は生活科見学で多摩動物公園へ行きました。グループでの行動は経験を重ねて学んでいくものなので、今後も機会を増やしていきます。
- 今後の予定のお話がありました。
 - *9月27日に2年生「体育科」マット運動の校内研究授業をします。2年生各クラスで事前授業をおこなっており、検証をしながらより良い授業作りを目指していきます。
 - *子ども達は暑い中でも様々なことにチャレンジして成長しています。
 - *10月14日の土曜授業では、1時間目に西田長縄グランプリを開催予定です。休み時間には長縄グランプリに向けてクラスで練習を積み重ねているところです。
 - *10月4日から2泊3日で6年生の移動教室が予定されています。弓ヶ浜での移動教室は今年度が最後になるので、“弓ヶ浜らしさ=海”を存分に楽しんできてほしいと思っています。
 - *土曜公開授業では1校時：長縄グランプリ、2校時：西田の丘トーク、3校時：授業（6年生は弓ヶ浜報告会）が実施されます。西田の丘トークにぜひご参加ください。
 - *11月は学習発表会を予定しています。一昨年度は感染症対策のためクラスごとの開催でしたが、今回は学年全員が舞台上に立って創り上げるということを行いたいと思っています。
- 資料2をもとに、9月末に退任される委員の方の報告と10月より新たに着任される委員の方の紹介がありました。

3 学校支援本部からの報告

- 各サポートの活動、学校支援の報告がありました。
 - *2学期も滞りなく活動を行っています。
 - *漢字検定：保護者中心で活動し、準備からしっかり活動できています。
 - *Nサポ：ワークシートを配布しており現在回収中です。
 - *図書サポ：主に廊下のディスプレイを担当し、チームワークよくアイデアを出しながら活動しています。地域の方2名が、本の修繕やラベル貼りなど司書の先生のサポートを行ってくださっています。
 - *花壇チーム；猛暑の中もメンバーの中で水やり管理をし、最近では花を植え替えたところです。

- 学主支援については、5年生の農業の授業はいい授業ができました。
 - *この授業はまず3年生で「杉並の農業を知る」ところから学習に入っている。5年生では「杉並の農業から食の未来を考える」というテーマでとてもよい授業を行うことができました。
 - *JA 東京中央の方が講師を引き受けてくださりお話をしてくれました。事前に打ち合わせを入念に行い、あらかじめ教科書を読み込んでくださり、授業の組み立てを行ってくださった。
 - *内容は食料自給率や農水省の取り組み、世界における日本の現状などをお話しいただきました。
 - *「フードマイレージ」という日本では食料を運ぶ交通費が非常に高いことを話してくださり、環境のためにできることを子ども達が考えました。
 - *農地は食物を作るだけでなく、災害時は避難場所にもなり防災としても活用できることを話していただき、非常に充実した授業を行うことができました。
 - *自分の周りのどこに畑があるかを知り、防災意識を高めることにつながりました。また農業や農地を知り、環境のためにも地元の野菜を買うことが大切だと知りました。
 - *このような充実した内容は初めてで今後も続くといいと思っています。
- 5、6年生のミシンサポーターのお手伝いや授業の様子を報告いただきました。
 - *ミシンサポーターのお手伝いを初めて担当しました。
 - *夏休み前に全保護者宛に募集をしましたが、定員数まで満たなかったです。
 - *担任の先生が呼びかけるとそのクラスだけはお手伝いの保護者が潤うなど数に差が出てしまうこともありますが、ピンポイントに集める場合は、担任の先生の声掛けが非常に有効で、募集の工夫が必要だと感じました。
 - *サポートを通して問題点に気付きました。子ども達にとって日常的に触れていないことの実習を突然することは、とても大変でスムーズにいきませんでした。授業の進行への影響が心配になり、授業に入る前に、裁縫に触れる前段階が日常でもあった方が良いのではと感じました。
 - *一人一人の作業なので、進み具合に差があります。授業としてはミシンの仕組みや使い方を教えたいが、そこまで進みませんでした。
 - *一人が悩むと先生が付きっきりになり、あちらこちらで手が挙がりました。
 - *ボビンの糸が絡まり、先生が呼ばれてしまうと取り除くまでに5分位すぐに経ってしまう。先生がとにかく大変そうだった。保護者が10名ほどお手伝いにいないと難しいと感じました。
 - *玉結びや玉留め、指貫きや糸切りばさみの使い方など、基本的な動作を知らない、慣れていない児童が多いと感じました。
 - *運針チャレンジや雑巾作りなど。前もって針をもつ経験をするといいと感じました。
- 今後の予定のお話がありました。
 - *4年生の琴の授業が例年通りあります。今年度も音楽発表会はないため発表の機会はなく、クラスで曲を仕上げます。また視覚障害や聴覚障害の方を講師にお招きしお話を聞く予定です。
 - *1年生は、お正月に向けてむかし遊びを開催予定です。同窓会の方に協力を頂きたく今年もお願いする予定です。
 - *図書サポの中に読み聞かせチームができたので、読書循環の際に何かできたらいいなと考えています。

4 PTAからの報告

- 夏休み期間は、子ども会で花火大会やプチ縁日等が開催され、児童や保護者の交流が盛んに行われた。9月13日の「西田秋祭り」では山車を引く子ども達の元気な声が地域を練り歩き活気に溢れました。
- 資料4について、呼称設置に関する議題や第1案の試行見送りに関する継続審議事項の説明が行われました。
 - *9月28日に開催予定の運営委員会では、PTAの呼称設置について採決がされる予定です。
 - *呼び方を変えることで「みなさんが入りやすくポジティブな組織」というイメージを持ってもらいたいと考えています。可決された際は親しみやすい呼び名を公募し、強制がなく西田小の児童全てを保護者全体で支えることができる組織としてPTAが変わっていることを改めてアピールしたいと考えています。
 - *継続審議中のものとして、3月に臨時総会にて可決された組織案の施行見送りについて話し合いが行われている。
 - *案の内容や見送りの背景を理解した上で、時間をかけて採決までのプロセスを踏む必要があり、今回の運営委員会では案の検討を中止する指針の打診と情報共有に留めています。
- 資料5 広報誌の紹介と今後の予定をお知らせしました。
 - *広報誌「Change」2号では、組織変更を図るきっかけとなった昨秋以降の経緯を時系列で説明しています。現行の組織と組織案について、保護者の方がわかりやすいように、まとめや比較をしています。
 - *事実の列挙については委員同士でも掲載について何度も意見を交わしました。また非会員という呼び方についても、PTA側の管理の都合上によるPTA未加入者のことをそのように呼んでいましたが、もっとよい言葉はないかと「西田ファミリー」とした。掲載方法や言葉を慎重に選びながら作っています。
 - *10月14日と21日にクラス選出会と次年度役員選出会が実施される予定です。執行部紹介の広報誌も配信され、一人でも多くの保護者の方に興味を持って頂けたらと思っています。
- その他
 - *入退会意思確認が導入されて今年で5年目となります。導入初年度は保護者間で混乱があり、その後、公平/不公平という意見が数多く出てきました。
 - *2年目以降は、新型コロナの影響もあり、多くの保護者の方達の気持ちが離れてしまったのではないかと感じる場面が、PTAの運営に携わる役員委員の方々には多々あったのではないかと思いますし、それぞれの年度の方達が可能な限りの努力をしてくださったと思います。「西田小の子ども達のために」という思いは変わらず皆さん持たれています。
 - *こういった状況下で今年度の役員委員、臨時委員の方々には大きな仕事を任せてしまっておりますが、保護者の方々がPTA組織について改めて考え始め、良い方向に動いているのではないかと感じます。
- 傍聴にお越し頂きましたPTA会長富田様より、見直し委員会が行なっているアンケートからみえてくる保護者の様子を伺いました。
 - *見直し委員会で保護者向けにアンケートを実施しており、様々な意見をお寄せいただいております。

ます。

*保護者間や保護者と学校など、双方向コミュニケーションができるデジタルな場の要望や、読み聞かせ復活など保護者同士のコミュニケーションを求める声が多くありました。

*学校のHPをもっと見やすくしてほしいという声もあり、教育や学校運営に関心の高い保護者は議事録や教育調査を見ているのだと感じました。

*これらの課題については見直し委員会の中で話し合っており、来年度以降DX化やデジタルに向けて動いていくという形で応えていけたらと考えています。

*ニシタス、学校、CSなど一連の関係や役割を知っている保護者が少ないと感じています。子ども達のことを考えてくださる組織であることをもっと発信して、みんなで情報共有をし合いながら行うのがよいと思いました。

*ニシタスとPTAの違いがわからないという保護者の声も多いです。どういう風に動いているかなど、それぞれの違いを明確にわかりやすく伝えていくことが大事だと感じています。

*役員選出方法やお仕事等で活動が難しい方も参加しやすいよう活動方法を見直して、みんなでやりやすい環境を整えていき、案に票を投じた方の意見も取り入れていきたいと考えています。

•委員の皆様からご意見や感想を以下にいただきました。

*資料5では、過去の資料を閲覧でき今までにない充実した情報発信されており関心しています。

*PTAは発足段階から社会教育団体という位置付けで、学校と一体となっているようで一体ではない難しい位置関係にあります。学校運営協議会は割と学校という組織と密着しており、どこまで発言をできるのか分かりづらいところもある中で、昨年度まではPTAの話題は頻繁には上がらなかったが、今年度から毎回傍聴にお越しいただき、PTAで発信していることを学校運営協議会にも発信いただいて、PTAの理解が深まっています。

*「子ども達にとって一番いいものはなんだろう」と追求するという点では、PTAの方達が考えていることと、学校運営協議会が果たすべき役割も、だいたいそこに収斂するのだろうと感じています。今後も密な関係であるべきだなと感じているところです。

*だいぶ過去にはなるが、保護者と先生の野球大会など交流が盛んに行われていた頃もありました。現在は昔のように難しいが、本当に大切なものは理論ではなく“心と心を通わせること”だと思います。

→10月15日に「逃走中」というイベントを開催予定です。PTA加入の有無に関わらず西田の子ども達や保護者が交流できる機会となればよいと願っています。

*柔軟な発想で、これからのPTAをよくしていこうという気持ちが表れて、その努力に感謝をしています。これからも頑張ってくださいと願っています。

5 退任される委員の皆様からのご挨拶

•校長先生より退任される委員の皆様へ感謝状が送られ、ご挨拶をいただきました。本日残念ながら欠席された委員の皆様からも校長先生代読にてご挨拶をいただきました。全て紹介させて頂きたいところですが、いただいた言葉を一部議事録に掲載いたします。

*西田小の子ども達の良き伝統を守って元気に勉強や運動をしている姿を心強く思っており、今後もこのような姿が続くように陰ながら応援しています。ただ全国的にも不登校のお子さんが

増えつつある状況は心の痛むところです。先生方の負担が非常に大きいという事実も大変だと思っています。より良い学校運営のために、学校としての希望を学校運営協議会から教育委員会に伝えることができたらいいなと感じています。

*自分の“自”を大切にしてください。この“自”はその反対の“他”に対しての想いがある“自”であり、そのような教育をこれからも目指していただきたいです。家庭の中では保護者や子どもにとって一番身近な“自”と“他”であり、この考えを忘れないで欲しいと願っています。

～6年間、西田小学校の学校運営協議会にご尽力くださり心から感謝申し上げます。～
お名残惜しいですが、これからも変わらず地域の一員の皆様として、どうぞよろしく願いいたします。

6 その他連絡、報告

・「西田秋祭り」の報告がありました。

*9月13日に行われた「西田秋祭り」では山車引きに、保護者を含め300人以上の方達が集まりました。非常に地域がまとまったことをできました。広がりや基盤を固めて継続できたら良いと思っています。

・中澤委員より今後の活動を伺いました。

*同窓会より「Sagasokka! (さがそっか)」という知識の拡充を目的としたWEBサイトの百科事典のアプリを10月からトライアルで学校へ提供予定です。

*「らくがく(楽学)・てらこや」が11月より3年振りに再開予定です。

7 委員による人事についての要望

非公開

10月学校運営協議会開催予定

10月30日(月)午後4時00分～5時30分

以上